

第二期門脇市政が、四月よりスタートを切った。厳しい財政状況の中、二十二年度は新庁舎建設やあけぼの保育の新築など、大きな事業も完成させなければならない。議会においては、今後その重要性が増々、大きなものになる。議員のひとりとして新たな決意を持たなければならないことを自覚する。

九月には、議会議員選挙（定数三減の二十二年議席）が実施される。合併から四年が経過し、市民のための行政が、更に充実しなければならぬ大切な期間となる。その意味から、大切な議会議員選挙であると思われる。多くの有権者の参加を望むところである。

議会だよりも、現在の編集委員による発行は、六月定例会を残すのみとなった。市民の皆さまに、見やすく読みやすい紙面づくりに努めてきたが、どこまで受け入れられたか不安も多い。開かれた議会の一翼を担い、今後も広報委員は日々努力すると思う。市民の皆さまの声を、今後とも数多く寄せて頂けることを願う所である。

（H）

Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



ゴールデンウィークで賑わう 泰山公園

